

CARVIN

V3M

THREE CHANNEL TUBE GUITAR AMP

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は CARVIN V3M をご購入いただき、誠に有難うございます。

製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

ご使用になる前に取扱説明書をお読み下さい。

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常がある場合は販売店にご相談ください。
2. 感電防止の為、使用中は部品に触れないでください。
3. 各装置の設置を完了させるまでは電源を入れないでください。
4. ヒューズを交換する場合、必ず先に電源プラグを抜いてください。
5. 40℃を超える環境で本体を使用することはお止めください。
6. 本製品は屋内使用専用です。屋外では使えません。また、雨天や湿気の多い場所での使用はお止めください。火災や感電の原因となります。
7. 本製品はストーブ等の熱源から離して使用してください。
8. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意ください。
9. 電源ケーブルが踏まれたり、挟まれたりしないよう注意してください。
10. メーカーによって供給された付属パーツ以外は使用しないでください。
11. 本体は通気性の良い所に設置し、周囲に可燃物や爆発物を置かないようご注意ください。また、使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
12. 本体の掃除をする際は乾いた布のみを使用してください。
13. AC100V-120V、50/60Hz にてご使用ください。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店にご連絡ください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

主な特徴

CARVIN では 1949 年より現在に至るまで、真空管ギターアンプを生産をし続けています。これまで Frank Zappa、Steve Vai、Craig Chaquico、Allan Holdsworth をはじめとする様々なトップアーティストから支持されてきました。ギターサウンドの飛躍的な向上を果たしたこの V3M を末長くお使い頂き、魅力的なサウンドの数々をお楽しみください。

—設計デザイン—

V3M の設計テーマは、高性能な 3 チャンネル真空管ギターアンプをコンパクトかつ、頑丈なパッケージにまとめることでした。その結果、小型ながらも超ハイゲインから重低音サウンドまで、どんなプレイスタイルにも対応できるフレキシブルなモデルに仕上がりました。V3M は実績のある真空管技術と、様々な機能を融合したギターアンプです。

—フレキシブルなゲインコントロール—

V3M の各入力チャンネルにはそれぞれ 3 種類のゲインモードが用意されています。プリアンプの異なる周波数を増幅することで、設定により様々なサウンドを得ることができます。チャンネル 1 ではオーバードライブサウンドを、チャンネル 2 ではマイルドなトーンを、といったように、従来の 3 チャンネルではできなかった設定が可能になりました。

—トーンコントロールと EQX—

パッシブタイプの BASS、MID、TREBLE ツマミを操作することで、トーンの幅広い調整ができます。この幅広い調整を可能にしたのが、1M Ω の密閉型ハイインピーダンスポットです。各チャンネルに備わる EQX ツマミは、各トーンつまみで調整するサウンドの周波数に 2 つ目のレンジを与えることで、幅広いサウンド調整を可能にします。PRESENCE のつまみは、サウンドのエッジを調整するよう設計されており、抑え目にすればスムーズで暖かなサウンドが、つまみを上げると抜けの良いサウンドが得られます。

—内蔵リバーブ—

特別設計のリバーブ機能により、豊かでナチュラルなサウンドが得られます。「ロングテール」と呼ばれるスイッチはセンドの信号だけを打ち消し、サウンドをカットせずにリバーブさせます。

—ブースト—

フットスイッチを使用することで、サウンドをブーストさせることができます。BOOST Level のつまみでブースト量を設定し、ソロ演奏時などギターサウンドを前面に出したいときにブーストをオンにすることで、出力を最大 6dB まで増幅できます。

—EL84 パワー管—

独特かつレスポンスの良いサウンドを実現するべく、V3Mのパワー管にはEL84が採用されています。このパワー管の特性により、ギターサウンドの幅広いダイナミックレンジへ対応できるようになりました。ソフトなピッキングプレイにはクリーンなサウンドが、アタックを強めたプレイには、相応のパンチのあるサウンドが得られます。

—ハイインピーダンス・ギター入力端子—

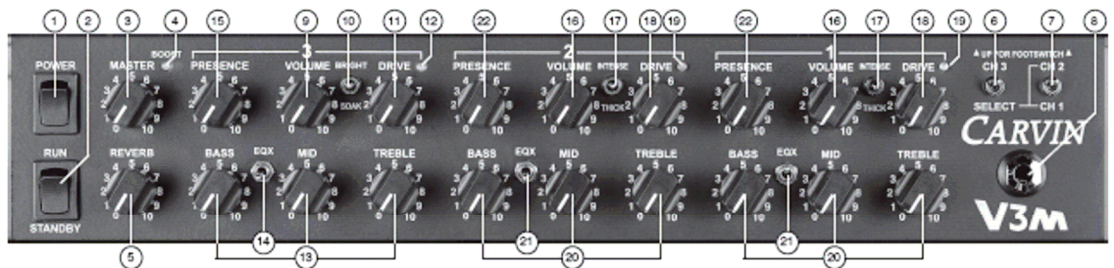
CARVINの製品は長い間、ギターの音声信号、高周波信号のロスを生じていました。ハイインピーダンス入力のV3Mでは、この高周波信号のロスを防いでいます。また、一般的なシールドタイプのギターケーブルが及ぼす高周波信号のレスポンス低下についても検討し、あえてプリアンプの電気容量を増やさずに高周波信号の振動をコントロールしました。

クイックスタート

電源を入れる前に、正しい電源、電圧のコンセントに接続しているか確認してください。V3Mをキャビネットに接続し、リアパネルの“SPEAKER OHMS”のつまみを、接続したキャビネットのインピーダンスに合わせてください。別売のフットスイッチ、FS44LまたはFS44を使用する際は、リアパネルの“FS44(L)”端子に接続してください。FS22のフットスイッチをご使用の場合は、リアパネルの“FS22”端子に接続してください。電源はOFFのまま、ボリュームのつまみをすべて“0”に合わせた状態で、電源ケーブルを接続します。

ここまでの設定が終わったら、ギターを接続して電源スイッチを入れ、真空管が温まるまで1分程度待った後、フロントパネルのスタンバイスイッチをRUNに入れてください。徐々にボリュームを上げ、好みに合わせてトーンのつまみを調整します。

フロントパネル



1. 電源スイッチ

メイン電源をオン/オフするスイッチです。電源がオンの時は各チャンネルのLEDのいずれかが点灯します。また、Boost LEDや本体ケース内のLEDが点灯することもあります。

2. スタンバイスイッチ

メイン電源をオンにしたあと、1分ほど時間をおいてチューブを温めてから、スタンバイスイッチを入れてください。アンプの電源を切るときは、スタンバイスイッチをオフにしてから電源スイッチをオフにしてください。休憩時などはスタンバイスイッチをオフにすることで、高圧電流をカットして真空管の寿命を保つことができます。

マスターセクション

3. マスターボリューム

3チャンネルすべての音量を調整します。各チャンネルの設定が済んだ後は、このマスターボリュームで全体の音量を調整してください。

4. ブーストLED

ブーストがオンの場合、緑のLEDが点灯します。FS44Lを接続しないでブーストがオンになっている場合は、エフェクトループのリターンレベルとして機能しています。この機能はFS44Lのフットスイッチを使用することで、オン/オフを切り替えることができます(27、28参照)。リアパネルにあるブーストレベルの調整で、6dBまでボリュームをブーストできます。

5. リバーブ

すべてのチャンネルにかかるリバーブの量を調整します。リバーブはフットスイッチのFS44Lを使用してカットすることができます。

チャンネル選択

6. チャンネル3セレクトスイッチ

チャンネル3のオン／オフを切り替えます。チャンネル3を使用する際はスイッチを上げ、使用しない場合はスイッチを下げます。フットスイッチを使用する場合は、スイッチを上げてください。

7. チャンネル1/2スイッチ

チャンネル3を使用する際、同時に使用するチャンネルを1または2から選択します。フットスイッチを使用する場合は、スイッチを上げてください。

8. ギター入力端子

ギターを接続する標準フォン端子です。ギターケーブルは7.5m以下のプロ仕様モデルをご使用ください。ギターケーブルは長くなるほど静電容量が上がり、高音域のレスポンスが低下します。

チャンネル3（クリーン）

9. ボリューム

クリーンサウンドで演奏する場合はチャンネル3を使用してください。ドライブとボリュームのつまみの操作で、音量を調整します。

10. ドライブモード 3ポジションスイッチ（チャンネル3）

BRIGHT/SOAKのスイッチで、3タイプのドライブモードを切り替えます。

-「BRIGHT」（上）プリアンプにハイエンドのスナップをかけます。ファンクやカントリー、ブルースなどに最適です。

-「CLASSIC」（中央）ヘッドルームが豊富なクリーンサウンドです。ドライブのつまみを上げるとハーモニクスと中音域のコンプレッションがかかります。クリーンジャズやブルースなどに最適です。

-「SOAK」（下）プリアンプを通る音声信号の周波数をブーストします。ドライブのつまみを上げると、ハードなヴィンテージサウンドが得られます。アグレッシブブルース、ロックに最適です。

11. ドライブ

ヘッドルームいっぱいのクリーンなサウンドを得る際は、ツマミを5以下に設定してください。ツマミを上げることで、サウンドにダイナミクスとハーモニクスが与えられます。ドライブモードスイッチを操作することで、異なる種類のサウンドが楽しめます。

12. チャンネル3 LED インジケーター

チャンネル3が選択されると、黄色のLEDが点灯します。

13. ベース、ミッド、トレブル

初めに5の位置に合わせた後、好みのトーンになるようツマミを調節します。高音域はプレゼンスのツマミも合わせて調整してください。

14. EQX

スタンダードEQとエクспанデッドEQを切り替えるスイッチです。スイッチをオンにするとより広い帯域の周波数をカバーします。

15. プレゼンス

5~10kHzのハーモニクスサウンドを調整します。トレブルを調整することで、この機能がより使いやすくなります。

チャンネル1、2（オーバードライブ）

16. ボリューム

使用するチャンネルのボリュームと、エフェクトセンドの音声信号の出力を調整します。すべてのチャンネルの音量を調整したい場合は、マスターボリュームのツマミを操作してください。

17. ドライブモード 3ポジションスイッチ（チャンネル1、2）

INTENSE/THICKのスイッチで、3タイプのドライブモードを切り替えます。

- 「INTENSE」（上）最もハードなディストーションで、迫力ある低音と抜けの良い中低音が得られます。ドライブのツマミを上げるとサスティンとサチュレーションが増加します。

- 「CLASSIC」（中央）鋭いレスポンスのオーバードライブです。ドライブのツマミを上げるとサスティンとハーモニクスが増加します。

- 「THICK」（下）タイトな低音、きめ細かい中域音、のびやかな高音が得られます。ドライブのツマミを上げるとサスティンと低音域が強調されます。

18. ドライブ

ツマミを 4 以下にすると、マイルドな真空管のサチュレーション、4 から 6 に設定するとより多くのハーモニクスとダイナミックなサウンドが得られます。フルに歪ませるには 6 から 10 の間に設定してください。フィードバックが起こる際は、ドライブを絞るか、ギターをアンプから離してください。

19. LED チャンネルインジケータ

チャンネル 1 が選択されている場合、青の LED が点灯します。

チャンネル 2 が選択されている場合、赤の LED が点灯します。

20. トレブル、ミッド、ベース

初めに 5 の位置に合わせた後、好みのトーンになるようツマミを調節します。高音域はプレゼンスのツマミも合わせて調整してください。

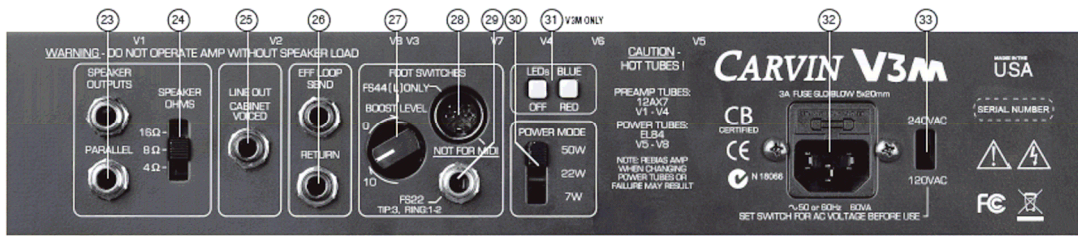
21. EQX

スタンダード EQ と エクスパンデッド EQ を切り替えるスイッチです。スイッチをオンにするとより広い帯域の周波数をカバーします。

22. プレゼンス

中高域のサウンドを調整します。トレブルを調整することで、この機能がより使いやすくなります。

リアパネル



23. スピーカー出力端子

スピーカーキャビネットを接続する端子です。複数のスピーカーキャビネットを同時に接続する事が可能です。この端子はパラレルで結線されています。パラレルで接続される事を想定した上で、スピーカーの合計インピーダンスを計算してください。また、スピーカーとの接続にはスピーカー専用ケーブルをお使いください。

24. インピーダンススイッチ

接続するスピーカーのインピーダンスに合わせて4Ω、8Ω、16Ωの中から選択します。16Ωのスピーカーを2台接続する場合は8Ωに、8Ωのスピーカーを2台接続する場合は、4Ωに設定します。

25. ライン出力端子

パワーアンプやミキサーに接続するための標準フォン端子です。出力レベルはスピーカーレベルより約-23dB 低く、どのミキサーやアンプにも対応できるように設定されています。

26. エフェクトループ

エフェクトループはシリーズ接続の配線となっており、プロセッサーを通ったすべての信号をアンプに送ります。センド端子からプロセッサーの入力へ、プロセッサーの出力からリターン端子に接続してください。ケーブルはスピーカーケーブルではなく、オーディオ用のシールドケーブルを使用してください。

27. ブーストレベル

ボリュームを最大6dBまでブーストできます。この機能はFS44Lのフットスイッチを使用時のみ、オン/オフを切り替えることができます。フットスイッチがない場合はオンの設定となり、ブーストレベルはアンプのボリューム調整として機能します。ブースト機能がオンの場合、フロントパネルのLEDが緑に点灯します。

28. FS44L フットスイッチ端子

フットスイッチを使用する場合は、フロントパネルの各チャンネルのセレクトスイッチを上げてください（6、7 参照）。

- ・ チャンネル 3 がオン、チャンネル 1、2 がオフのとき、チャンネル 3 のフットスイッチ LED が点灯します。
- ・ チャンネル 2 がオン、チャンネル 3 がオフのとき、チャンネル 1、2 のフットスイッチ LED が点灯します。
- ・ チャンネル 1 がオン、チャンネル 3 がオフのとき、チャンネル 1、2 のフットスイッチ LED が点灯します。

29. FS22 フットスイッチ端子

フットスイッチを使用する場合は、フロントパネルの各チャンネルのセレクトスイッチを上げてください（6、7 参照）。FS22 の操作でチャンネル 3、チャンネル 1、2 の切り替えができます。

30. パワーモードスイッチ（出力）

出力とダイナミクスを最大限出力する場合は、このスイッチを 50W に設定してください。低い出力で演奏する場合は 22W または 7W に設定することで、それぞれボリュームが 3dB または 6dB ダウンします。

31. LED ケージライト

V3M のケージ内にある LED を赤、青、オフに切り替えます。

32. 電源ソケット、ヒューズ

電源ケーブルを差し込むソケットです。ヒューズはこのソケットの内部に格納されています。ヒューズが飛んだ際はアンプの電源を抜き、電源の接続、スピーカーとの接続もしくは真空管に問題がないか確認し、同タイプのヒューズに交換してください。ヒューズを交換してもアンプが作動しない場合は真空管の状態を確認してください。

33. 電圧スイッチ（120V/240V）

電源コンセントの電圧に合わせて、120V と 240V を切り替えます。日本国内で使用される場合は必ず 120V に設定してください。設定と異なる電圧で接続した場合、ヒューズやその他を破損する原因となります。

ヘルプセクション

使用チャンネルのフィードバック

使用チャンネルのボリューム、ドライブ、トレブル、プレゼンスをフルに上げるとフィードバックを起こすことがあります。他のチューブアンプと同様、これは正常な現象です。フィードバックやノイズを抑えるにはドライブを抑えるか、ギターを遠ざけてください。

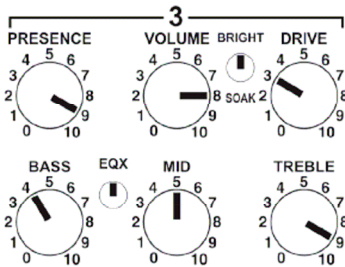
真空管の交換

真空管はアンプの移動時や長期間の不使用などで壊れることがあります。真空管を交換する際は、下記の手順に従ってください。

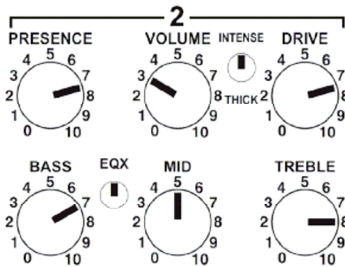
1. プリアンプ用の真空管 12AX7A は V1、V2、V3、V4 の順で本体内にセットされています。V1 はギター入力端子のそばにあり、全チャンネルを駆動しています。V2 はチャンネル 1、2 をメインに駆動し、V3 はチャンネル 3 とエフェクトリターンの端子を調整しています。エフェクトリターン端子を使用して音が出ない場合は、V4 を交換してください。
2. プリアンプ用の真空管を交換しても音が出ない、またはヒューズが飛んでしまう場合は、アウトプット真空管の EL84 を交換してください。アウトプット真空管の交換後は、技術者による確認が必要になります。
3. ヒューズが飛んでアンプの電源が落ちる場合は、パワー真空管を交換してください。

推奨セッティング

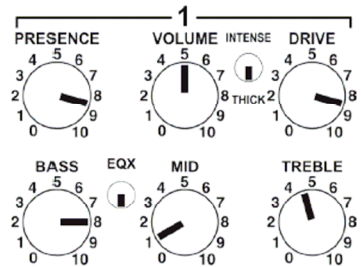
スーパークリーン



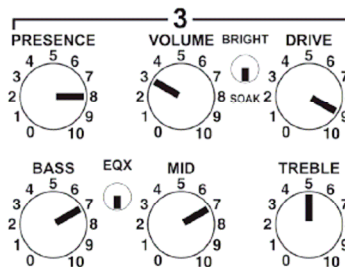
カッティングリード



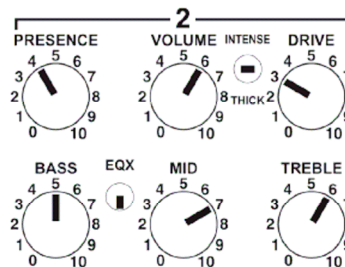
モダンヘヴィー



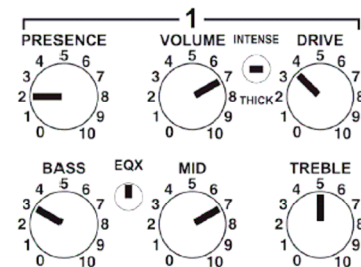
ブルースプレイヤー



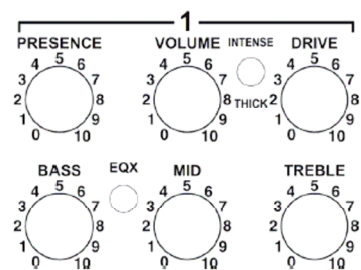
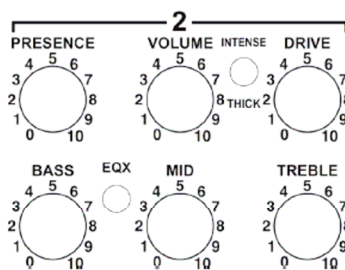
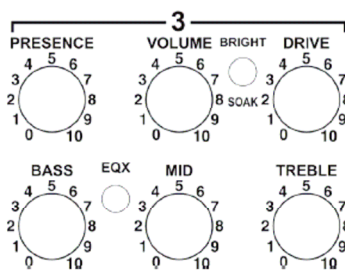
クラシックロック



スムーズリード



好みの設定を記載して下さい



製品仕様

定格電力	50W 22W 7W(切り替え)
出カインピーダンス	4、8、16Ω(切り替え)
入カインピーダンス	220,000Ω
トーンコントロール	BASS、MID、TREBLE、PRESENCE、EQX
チャンネル1感度	クリッピング時 1mV
チャンネル2感度	クリッピング時 1mV
チャンネル3感度	フル出力時 16mV
FS44L フットスイッチ	チャンネル3、チャンネル1/2、リバーブ、ブースト
ライン出力	スピーカー出力比約-23dB
プリアンプ真空管	12AX7 x 4本(デュアルステージ)
パワーアンプ真空管	EL84 x 4本(5極電子管)
AC電源	120/240 VAC、50/60Hz、150VA、3A ヒューズ
キャビネット	ポプラ7プライ
サイズ、重量	38(W) × 18(H) × 22(D) cm、8.7kg

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。

CARVIN